

●実務経験のある教員等による授業科目

音響・照明科

PA音響エンジニアコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	51	51	必修	講義	○	102
	デビュー・就職実務Ⅰ	80		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		53	必修	講義		-
	著作権		19	必修	講義		-
	PC実習	54		必修	講義		-
	選択授業	36	36	必修	講義		-
	異文化研究	20	20	必修	講義		-
	イベント制作実習A	141	126	必修	実習	○	267
	イベント制作実習B	283	288	必修	実習	○	571
専門科目	PA音響実習Ⅰ	68		必修	実習	○	68
	PA音響実習Ⅱ		72	必修	実習	○	72
	舞台機構調整技能Ⅰ	18		必修	講義	○	18
	舞台機構調整技能Ⅱ	34		必修	実習	○	34
	ライブ実習		68	必修	実習	○	68
	ポピュラー楽器基礎学Ⅰ	16		必修	講義	○	16
	ポピュラー楽器基礎学Ⅱ		18	必修	講義	○	18
	音響基礎理論Ⅰ	18		必修	実習	○	18
	音響基礎理論Ⅱ		50	必修	実習	○	50
	照明基礎知識Ⅰ	18		必修	講義	○	18
	照明実習Ⅰ	18		必修	実習	○	18
	映像機器基礎	18		必修	講義	○	18
	イベント実習	34	34	必修	実習	○	68
							-
							-
						-	
						-	
						-	
合計	総授業時間数	907					
合計	総授業時間数		835				合計
卒業時最少時間		1742					1424

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	51 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。</p> <p>到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、合同会社UNITY 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	x
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	80 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む          基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。          検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	

教科書等	<p>社会人常識マナー検定テキスト2・3級          自作プリント          授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10%          成績評価は(S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可))の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	53 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>就職又はデビューに向けた実務授業。          目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。          また、学生主体の自主イベントの企画制作も実行しプロ活動につなげて行く。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
	就職志望:Ⅰ【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
2	アーティスト志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
	就職志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望:現状プロフィールシートの更新。確認と再作成
	就職志望:履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)
4	アーティスト志望:プロフィールシートの提出
	就職志望:履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)と提出
5	アーティスト志望:プロフィールシートの添削フィードバック
	就職志望:履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望:①【活動報告書】の作成と提出
	就職志望:①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
	就職志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望:オーディション対策(自己PRの練習)
	就職志望:面接対策(自己PR、志望動機の練習)
9	アーティスト志望:個別面談・フィードバック
	就職志望:個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
	就職志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	アーティスト志望:目標について個別ヒアリング面談(未決定者フォロー)
	就職志望:目標について個別ヒアリング面談(未決定者フォロー)
12	アーティスト志望:②【活動報告書】の作成と提出
	就職志望:②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
	就職志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望:現状プロフィールシートの更新。確認と再作成
	就職志望:②面接対策(自己PR、志望動機の練習)
15	アーティスト志望:プロフィールシートの提出
	就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)
16	アーティスト志望:プロフィールシートの添削フィードバック
	就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)
17	アーティスト志望:オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導)
	就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の 経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。科目数は毎年約30科目ほどである。各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	141 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	283 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	126 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	288 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PA音響実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	富樫武志		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	68 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニア / 照明エンジニアコース

授業概要	基本的な機材の取り扱いと音響システムの概要を理解し、簡易音響システムの設置ができるようになることを目標とする。 現場で想定される音響以外の要素との連携を意識し、イベント実習やインターンでの対応力を身に着ける。
------	---

## 授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
----	-------------------

前期	1	SHOWCASE!!常設システムの理解と簡易音響システムの概要を学ぶ ①主な用語の解説 ②コネクタの種類、使用用途など	PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース
	2	音響機材の扱い方について学ぶ ①各種ケーブル、スタンドの取扱いと設置時の注意点を学習する。 ②ミキサー、マイク等、各機器を扱うにあたっての注意点を学習する。	
	3	音響機材の名称、役割を学ぶ ①マイクロフォン、スピーカーの構造・特性について学習する。 ②ミキサー、グラフィックコライザー、パワーアンプの役割について学習する。	
	4	ミキサーの機能を学ぶ ①アナログミキサーを使用して基本的な機能を学習する。 ②デジタルミキサーを使用して様々な音声処理を学習する。	
	5	電気信号の流れについて学ぶ ①各機器間における電気信号の違いとミキサーの役割について学習する。 ②機器間の接続について学習する。 ③SHOWCASE!!常設システムを図解で理解する。	
	6	モニターについて学習 ①モニタースピーカーを使用してサービスエリアごとに適したモニタリングについて学習する ②メインスピーカーとモニタースピーカーの調整法や音場について学習する。	
	7	カラオケステージをつくる ①簡易PAセットでのカラオケ演奏を想定した仕込み、オペレーションを通して一連の作業を理解する ②実際の現場を想定した適切な設定と拡声レベルを学習する。	
	8	<評価週> 実技テストとして簡易PAシステムの仕込みを行う	
	9	<評価週> 実技テストとして簡易PAシステムの仕込みを行う	

後期	10	スピーカーのチューニングについて学習する。 ①メインスピーカーとモニタースピーカーの音質補正について学習する。	PA音響エンジニアコースのみ対象
	11	電気の基礎について復習する。 ①電源の取り扱いについて学習する。 ②各機器の学習で触れた電気の基礎について復習し、理解を深める。	
	12	各図面、資料等の読み取り方、情報のまとめ方を学習する。 ①各図面や資料からの正確に情報を得るため用語や記号等を学習する。 ②音響資料を作成するうえで必要な情報や、見やすい、伝わりやすい記述について考察する。	
	13	転換を含むイベント形式の進行を学習 I ①様々な演目の転換を想定したプランニングと仕込みを学習する。 ②進行台本に沿ってPA転換の留意点を学習する。 ③サウンドロゴ、BGM、効果音等、イベントの中での音響効果を学習する。	
	14	転換を含むイベント形式の進行を学習 II ①様々な演目の転換を想定したプランニングと仕込みを学習する。 ②想定されるトラブル、事故への対処法や予防策を学習する。 ③舞台を想定して音響以外のセクションとの連携や全体の進行について学習する。	
	15	モニター分岐システムについて学習する。 ①独立したメイン、モニターシステムについて学習する。	
	16	ワイヤレスマイクの取り扱いについて学習 ①使用される電波の種類について学習 ②機器の取扱いについての注意点、ピンマイク、ヘッドセット等の特性について学習する。	
	17	簡易PAセットの仕込みを復習 ①1名で設営～システムチェック、撤去を行い作業工程の効率化や丁寧な現地設営を考える。	

教科書等	「基礎が身につくPAの教科書 PA入門 [改訂版]」 必要に応じて補足テキスト等を配布する
成績評価	評価週の試験30%、授業態度および学習意欲70% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2011年にサウンドエイト入社、県内外のフェスやテレビの公開収録、生放送の音響を担当・荒吐ロックフェス、ミリオンロックフェスティバル、のど自慢、新・BS日本のうた等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音響実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	熊倉 潤一		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	72
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	①授業の全体像 音響の基本を復習しその内容からオペレートに繋がる応用を学習する ②内容 各機器の使い方、システムプランの作成、打ち合わせなどチーフとして必要な知識を学習する ③到達目標 300人規模の中型イベントの音響プランを作成出来るようになる
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	中～大規模音響システムについて学習する。 SHOWCASE、プラクティス、柳都SCのシステムを図解で理解、アナログ、デジタルの違いを学習し、それぞれのメリット・デメリットを考える。 オーディオ・ネットワークを活用した音声のデジタル伝送について学習する。
2	柳都SCのPAシステムを復習し、アナログ・デジタルシステムを併用し、モニター卓の仕込みから回線チェックまで行う。
3	学校の機材のスペックを調べ、現場の規模に合った機材の選定について考える。
4	音響プランニング① 学校の機材をつかって野外ステージの音響を考える。 それぞれ発表し良い所、悪い所について話し合う。
5	音響プランニング② 学校の機材をつかって野外ステージの音響を考える。 先週の授業の反省をふまえてもう一度考える。野外現場で注意すべきことなどに注目する。
6	実際に使われているタイムスケジュールを使い照明や楽器などの他セクションの動きを確認しながら仕込みを行い、ステージ転換の段取りを考える。
7	実際のバンドの回線表で仕込みを行い実際にバンドの音づくりをする①。 コンプレッサー、ノイズゲート、リバーブ、ディレイの復習。
8	実際のバンドの回線表で仕込みを行い実際にバンドの音づくりをする②。 リハーサルの流れ、進め方、の説明
9	テスト サウンドエイト作成の回線表で仕込みを行い、outチェック、回線チェック、スピーカーチューニング、リハーサルまで行う。
1	前期の復習 ①周波数、音場、エフェクターなどを理解しているか確認する。 ②サマーレビューでの反省点、課題を確認する。
2	チューニングについておさらい ①音場、周波数を考え、サウンドチェックを行う。 ②モニター卓を組み、メインスピーカーとの音の回り込みなどについて、確認する。
3	ステージマンとしての動きの応用① リハーサルの進め方、転換の注意点など
4	ステージマンとしての動きの応用② フェスの転換、など
5	デジタル卓を用いて、仮想イベントを作りあげる その① ①カラオケ素材を使い、デジタル卓でのPAを仕込む。 ②注意点など説明し、主に座学的に進めていく。
6	デジタル卓を用いて、仮想イベントを作り上げる その② ①#5の続きとして、進行も含め分担をする。
7	トラブル対策 仕込みの段階で、トラブル防止対策を考える。養生、電源の抜け止め、ケーブルの這わせなど起きたトラブルに対する対処方法、ノイズ、ワイヤレスの混信、故障機材の特定など
8	実践的な授業 ①デジタル卓を使用する。ハウス、モニター、ステージチームに分けて、時間を意識した仕込みをする。
9	テスト サウンドエイト作成の回線表で仕込みを行い、outチェック、回線チェック、スピーカーチューニング、リハーサルまで行う。その後トラブルの対処が出来るかどうかのテスト

教科書等	1年次からひきつぎ「基礎が身につくPAの教科書 PA入門 [改訂版]」を使用。 必要に応じて補足テキスト等を配布する
成績評価	評価週の筆記試験50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2000年より Live House「Club Junk Box」にて音響オペレーター、ブックイング、マネージャーを担当、2010年よりLive House「GOLDEN PIGS」にてマネージャーを担当 2013年より株式会社サウンドエイトへ入社

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	舞台機構調整技能Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<p>前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。試験問題解集に基づいて学科試験の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。</p> <p>(1年コンサートライブスタッフコース、アーティストマネージャーコースと2年照明エンジニアコース合同で行う)</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【イントロダクション】舞台機構調整技能士3級試験について
2	学科試験対策(1. 舞台一般)
3	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
4	学科試験対策(2. 音響機構調整法)
5	学科試験対策(3. 電気)
6	学科試験対策(4. 関係法規)
7	学科試験対策(5. 安全衛生)
8	ヒアリング試験(判断等試験)対策(楽器の名称、音について)
9	学科試験対策(過去問題)

教科書等	公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	前期: 試験結果: 60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40% 後期: 技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%  成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	舞台機構調整技能Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<p>前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。実技試験(制作等作業試験)の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。</p> <p>後期はより舞台の知識を深めながら、実際にホールに足を運び経験を積む。</p> <p>(この科目は、1年PA音響エンジニアコースと2年照明エンジニアコース合同で行う)</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ケーブル巻き練習
2	実技試験(制作等試験)対策
3	実技試験(制作等試験)対策
4	実技試験(制作等試験)対策
5	実技試験(制作等試験)対策
6	1人ずつ制作等作業試験のテストを行う
7	1人ずつ制作等作業試験のテストを行う
8	1人ずつ制作等作業試験のテストを行う
9	まとめ(不足箇所重点)
10	イントロダクション、振り返り～舞台の種類、ホール構造などについて
11	幕・道具などについて
12	舞台の床について
13	図面について
14	舞台制作におけるスタッフと役割について
15	ホールのシステム、区分、禁止行為解除等について
16	ホール見学(新潟音楽文化会館)
17	ホール見学(新潟音楽文化会館)
18	ホール見学(新潟音楽文化会館)
19	レポート作成

教科書等	<p>公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」</p> <p>授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>前期：試験結果：60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40%</p> <p>後期：技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務</p> <p>ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務</p> <p>舞台機構調整技能士2級 合格</p>



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	68 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブハウスでの仕込み～リハーサル～本番～撤収までの流れを経験する</li> <li>・本番のオペレートを数多くこなし技術を養う</li> <li>・出演者とのコミュニケーションの取り方を学ぶ</li> </ul> ※ヴォーカル科と合同授業
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション: 授業の進め方について、担当分け、PA卓の設定
2	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
3	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
4	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
5	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
6	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
7	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
8	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
9	レポート提出
10	前期の振り返り、担当分け、PA卓の設定
11	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
12	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
13	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
14	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
15	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
16	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
17	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
18	パフォーマンス内容に合わせた仕込み～リハーサル～本番～撤収作業
19	レポート提出

教科書等	無し。 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業態度および学習意欲80%、課題レポート提出20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ポピュラー楽器基礎学 I		実務授業の有無	○
担当講師	藤崎 哲弥		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	16 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース、照明エンジニアコース

授業概要	<p>現代の音楽シーンで主に使われる楽器・機材への用語、理解を深めることでより実践的なPA・LAの作業ができるように指導していく。 また、機材トラブル等に即座に対応できる知識を身につける。 (この科目は、1年PA音響エンジニアコースと2年照明エンジニアコース合同で行う)</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション 主要楽器(Voマイク・ドラム・ギター・ベース・キーボード)の紹介
2	■マイクセッティング・Vo演出効果の紹介 接続から音出し、効果演出でのアーティストの要望事例を紹介。
3	■ギター・ベース 各楽器の特性(メーカー・ボディの種類・音色等)
4	■ギターアンプ・ベースアンプ アンプの種類・接続方法等
5	■キーボード・DJ・電子楽器の紹介 電子ピアノとシンセサイザーの違い・音色・接続方
6	■ドラムセット セッティング実践
7	■ドラムセット セッティング実践
8	■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認
9	■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認
10	■各楽器のセッティング ドラム・ギター・ベース・キーボードのセッティング実践

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	最終授業での実践度合50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コニカミノルタ等でPA業を10年以上従事。 個人事業でも作編曲・演奏、REC・MIX等の業務経験を重ねることで、プロのジャズミュージシャン、歌手、メジャーアーティストへの快適な演奏環境を提供している。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ポピュラー楽器基礎学Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	藤崎 哲弥		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	現代の音楽シーンで主に使われる楽器・機材への用語、理解を深めることでより実践的なPAの作業ができるように指導していく。 また、機材トラブル等に即座に対応できる知識を身につける。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション 主要楽器・機材(Voマイク・ドラム・ギター・ベース・キーボード・DJ)の紹介
2	■Voマイクのセッティング方法・モニターSPの研究マイク設定のチューニング、音作りでの事例紹介。
3	■ギター・ベース 各楽器の特性・メンテナンス方法(主なメーカー・ボディの種類・音色等)
4	■ギターアンプ・ベースアンプ・エフェクター アンプの種類・接続方法等・トラブルシューティング事例紹介
5	■その他電子楽器 キーボード・DJ・サンプラー等の楽器紹介・接続時の注意点など事例紹介
6	■ドラム セッティングの復習・ドラムメーカー・シンバルメーカーの紹介、音色の違い
7	■ドラム チューニング方法、ドラムヘッド交換等
8	■各楽器のおさらい セッティング・接続方法等を確認
9	■各楽器のセッティングドラム・ギター・ベース・キーボードのセッティング実践

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	最終授業での実践度合50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コニカミノルタ等でPA業を10年以上従事。 個人事業でも作編曲・演奏、REC・MIX等の業務経験を重ねることで、プロのジャズミュージシャン、歌手、メジャーアーティストへの快適な演奏環境を提供している。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音響基礎理論 I		実務授業の有無	○
担当講師	MOA INDUSTRY 柄澤 祐司		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース

授業概要	音響に関わる基礎理論のおさらいと、歴史を知ることによりこれから学んでいく最新の技術を学ぶための土台を作っていく。 いま主流となっている音響の技術とこれから未来の技術についても学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 ①メインテーマ『音響や音声に関わる音響概論について』 ②聴覚の仕組みと音響に関わる理論を座学にて。
2	①メインテーマ『レイテンシーについて』 ②デジタル音響技術に必須となるレイテンシーについて座学にて。
3	①メインテーマ『PAスピーカーの種類と歴史①』 ②スピーカーの構造について詳しく解説。 ③ポイントソースとラインアレイの違いについて
4	①メインテーマ『PAスピーカーの種類と歴史②』 ②スピーカープロセッサの歴史を辿りながらPAスピーカーの目指すべき目標地点を座学にて。 ③フィルターとクロスオーバーの関係について
5	①メインテーマ『PAスピーカーの種類と歴史③』 ②音響のチューニングの歴史。 ③最新のチューニングとは
6	①メインテーマ『パワーアンプのプリセットデータについて』 ②ジョイアミーアにてメーカーのプリセットデータとフラットのデータを試聴比較。
7	①メインテーマ『最新のプロセッシング技術に触れる』 ②ジョイアミーアにてLakeProsseser(パワーアンプとコントローラー)に触れる。
8	①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる①』 ②ジョイアミーアにてラインアレイスピーカー(Adamson)に触れる。
9	①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる②』 ②ジョイアミーアにてラインアレイスピーカー(Adamson)に触れる。
10	①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる③』 ②ジョイアミーアにてラインアレイスピーカー(Adamson)に触れる。

教科書等	なし
成績評価	課題素材(6-9の中で作る素材)提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟で音響業務を中心に音に関わって23年。 現在は音響の他に映像・音声・照明・制作など幅広くエンタテインメント業務に従事。

**SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス**

科目名	音響基礎理論Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	MOA INDUSTRY 柄澤 祐司		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	50 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニア

授業概要	音響の仕事に関わる目的と意識統一を図っていく。 FOH, FB, STAGEといったセクションの垣根を超えたチーム組織を作るための実習とする。 声の掛け合い、他照明・映像セクションとの連携や注意点なども織り込む。 技術を作り込むために一番大切な「時間」について掘り下げていく。 いま主流となっている音響の技術とこれから未来の技術についても学ぶ。
------	--

**授業計画**

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
前期	1 イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 ①メインテーマ『設営時間・調整時間・本番時間について』 ②他セクションとの動きに関して座学で理解を深める。
	2 ①メインテーマ『設営時間について』 ②会館や屋内会場、屋外会場に赴く前にどこまで事前準備をしていくかを掘り下げる。
	3 ①メインテーマ『調整時間について①』 ②会館や屋内会場、屋外会場にて何を意識して音響的に調整するかを掘り下げる。
	4 ①メインテーマ『調整時間について②』 ②会館や屋内会場、屋外会場にて何を意識して音響的に調整するかを掘り下げる。
	5 ①メインテーマ『本番時間について』 ②本番を行う際に音響的に考えることを統一する。
	6 ①メインテーマ『他セクションとの連携について』 ②照明さんや映像さんが何をしているのかを学び改めて「時間」の大切さについて学ぶ。
	7 ①メインテーマ『音響チームの連携について①』 ②今までの「時間の大切さ」を元にチームを2つ作り設営から本番までを行う。
	8 ①メインテーマ『音響チームの連携について②』 ②今までの「時間の大切さ」を元にチームを2つ作り設営から本番までを行う。
	9 ①メインテーマ『音響チームの連携について③』 ②今までの「時間の大切さ」を元に全員でチームを1つ作り設営から本番までを行う。
後期	10 イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 ①メインテーマ『夏のイベントを終えてチームについての反省点をあげる』 ②サマーレビューをチームでこなし時の良かった点と悪かった点をあげ改善を図る。
	11 ①メインテーマ『パワーアンプのプリセットデータについて』 ②ジョイアミアにてメーカーのプリセットデータとフラットのデータを試聴比較。
	12 ①メインテーマ『最新のプロセッシング技術に触れる』 ②ジョイアミアにてLakeProsseser(パワーアンプとコントローラー)に触れる。
	13 ①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる①』 ②ジョイアミアにてラインアレイスピーカー(Adamson)に触れる。
	14 ①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる②』 ②ジョイアミアにて最新Wedgeスピーカー(Clair)に触れる。
	15 ①メインテーマ『最新のスピーカー技術に触れる③』 ②ジョイアミアにて最新Wedgeスピーカー(Clair)に触れる。
	16 ①メインテーマ『最新のミキサー技術に触れる①』 ②S6LとQL5を使用しそれぞれの違いを学ぶ。音の違いについて
	17 ①メインテーマ『最新のミキサー技術に触れる②』 ②S6LとQL5を使用しそれぞれの違いを学ぶ。シーンやデータといった構造の違いについて
	18 ①メインテーマ『最新のミキサー技術に触れる③』 ②S6LとQL5を使用しそれぞれの違いを学ぶ。同じ音源でMIX作業を行う
	19 ①メインテーマ『最新のミキサー技術に触れる④』 ②S6LとQL5を使用しそれぞれの違いを学ぶ。同じ音源でMIX作業を行う

教科書等	なし
成績評価	評価週の試験70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟で音響業務を中心に音に関わって23年。 現在は音響の他に映像・音声・照明・制作など幅広くエンタテインメント業務に従事。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明基礎知識		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース／照明エンジニアコース

授業概要	<p>教科書「舞台・テレビジョン照明 基礎編」をもとに照明の基礎を学ぶ。 2年間で以下のことを学ぶ。 オペレートに主眼がいているライヴハウスにおけるトラブルの場合それを処理できないことも多い。この授業はスポット・回路・調光システム・カラー等の基礎を学びそれらを知ることにより、正しい使用方法・トラブルに対する方法を理解する。前期は、舞台に関する仕事に就こうとする照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコースの生徒に知っておくべき用語の基礎から教える。後期は照明エンジニアコースの生徒のみ。</p>
------	---

授業計画					
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など				
1	XIV 舞台用語	照明に関する用語		P185～P192	PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同
2	XIV 舞台用語	舞台・美術に関する用語		P185～P192	
3	XIV 舞台用語	公演・演出に関する用語		P185～P192	
4	IV 1. 舞台機構	1) 舞台の平面と断面		P35～P38	
5	"	5) 舞台吊物機構	①幕類用吊物設備	P38～P40	
6	"	"	"	P38～P40	
7	"	"	②照明用吊物設備	P40～P42	
8	"	6) 舞台床機構		P42P～P45	
9	2. 舞台照明設備			P46～P50	
10	V 舞台における照明の仕事			P51～P58	照明エンジニアコースのみ対象
11	"			P58～P64	
12	VI 仮設システムを使った照明の仕事			P65～P71	
13	"			P71～P76	
14	XIII 照明家に必要な基礎知識			P147～P154	
15	"			P154～P161	
16	"			P161～P169	
17	"			P169～P177	
18	"			P177～P184	
19	XI 照明機器			P113～P128	

教科書等	舞台・テレビジョン照明 基礎編2021(発行:日本照明家協会) 舞台・テレビジョン照明 基礎編(発行:日本照明家協会)一部コピーを使用 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	範囲内の筆記試験 70%、授業態度および学習態度・知識欲・主体性30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	1972年より照明エンジニアとして活躍 現在新潟照明技研株式会社 専務取締役 舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定 公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	照明実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	菅原 良広		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース/照明エンジニアコース

授業概要	<p>前期:照明操作卓(調光卓)、スポット、ケーブル等に親しみ、その操作方法・扱い方を学びながら、舞台照明そのものを学ぶ。基本になるのは安全である。(照明エンジニアコース・PA音響エンジニアコース対象)</p> <p>後期:学生にとり、全てが新しい内容であるため、前期の内容を復習しつつその内容を深めていくことを目的とする。(照明エンジニアコース対象)</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Studio「Practice」の説明 吊り込み用器具:安全にスポットを吊り込むために、ハンガーに親しむ
2	レンズによる光の質の違いをみる
3	Practiceに設備されている機材の説明
4	Practiceの調光卓(Express 48/96) / ユニット / 回路の説明
5	サブマスターに シーン/チェイス記憶 ・修正を習得する
6	〃
7	〃
8	平凸・フレネルレンズを使用したスポットライトを使い光軸調整を習得する
9	舞台・テレビジョン照明現場において使用されるカラーフィルターを覚えよう
10	Effect(雪・雨・雲・ストロボ・ソースフォー)を仕込む
11	バトン仮設、サスバトンに見立てスポットを仕込む
12	〃
13	ステージ回路を仕込む
14	〃
15	Express サブマスター記憶
16	〃
17	電源・電圧計算／実測 照度計算／実測
18	照明とデジタル信号
19	Grand Concertに向け、会場の明細説明

PA音響エンジニアコース・照明エンジニアコース合同

照明エンジニアコースのみ対象

教科書等	無し 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	<p>前期:美しい光を得るため、平凸レンズ・フレネルレンズを使用したスポットライトでの、光軸調整の成果をみる／後期:調光卓(Express 48/96)のサブマスターに、シーン/チェイスを記憶できること、修正できること、以上2点を見る 50%</p> <p>前期後期ともに:授業態度および学習意欲・主体性 50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>1972年より照明エンジニアとして活躍</p> <p>現在新潟照明技研株式会社 専務取締役</p> <p>舞台・テレビジョン照明技術者1級技能認定</p> <p>公益社団法人日本照明家協会 東京支部 運営委員</p>

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	映像機器基礎		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース/照明エンジニアコース

授業概要	音響・照明だけでなく映像機器の接続や再生に関わる知識を身に付けることを目的とする。例えばホテルの宴会場やホール等で、講演会や披露宴などが行われた際の機器の接続、持込みメディアの対応、パソコンの接続(ファイル形式等の対応)、映像投影機器の調整など作業が音響・照明スタッフが行うこともあるため、このような授業を設ける。また、映像と共にある音声についても触れていく。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション: 音響・照明と映像のかかわり、現代の映像について 映像の解像度とフレーム数、アスペクト比について
2	音声メディアと、映像メディア、テープの仕組み、ディスクの仕組みについて コピー防止のための仕組み、「-R」、「-RW」等について
3	アナログ/デジタル音声伝送方法とアナログ/デジタル映像伝送方法 クロック、同期、ジッタについて
4	映像レーテンシーについて(ビデオカメラを使っての実習) 映像切り替えについて(スイッチャーを使った実習)、クロマキー、Pict in Pictなどの特殊効果について
5	パソコン等でのファイル形式について(音声・映像) 非圧縮・ロッシェー圧縮・ロスレス圧縮について
6	サラウンド音声、イマーシブ・オーディオについて
7	サラウンド実習(サラウンドシステムを組み、映画等を比較してみる)
8	接続実習(Win, Mac, DVD等をプロジェクタ、モニタ等へ接続してみる) プロジェクタ、モニタ等の設定等も
9	PC接続: インターフェイス、USB、Thunderbolt等について
10	まとめ / 筆記テスト

教科書等	無し。 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	筆記テスト60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音響・照明科		対象コース	PA音響エンジニアコース/照明エンジニアコース

授業概要	オープンキャンパスの準備・リハーサルから本番・撤収を実習内容としながら、インターンシップ等への参加も単位として認め、音響・照明の様々なイベントを評価とする。様々なイベントへのスタッフとして参加し現場経験を多く積むことを目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
2	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
3	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
4	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
5	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
6	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
7	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
8	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
9	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
10	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
11	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
12	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
13	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
14	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
15	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
16	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
17	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
18	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加
19	オープンキャンパスの準備・リハーサル～本番・撤収、または他のインターンシップへの参加

教科書等	無し。 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	インターンシップ参加願及びインターンシップ報告書の提出状況・記載内容、またはオープンキャンパスのスタッフとしての参加状況：100%  成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格